

この説明文書は本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください。

カゼチーム

【かぜ薬】 第2類医薬品

販売名：カゼチーム

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 1. 次の人は服用しないこと
 - (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - (3)12歳未満の小児。
- 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
- 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）
- 4. 授乳中の人は本剤を服用しないが、本剤を服用する場合は授乳を避けること
- 5. 服用前後は飲酒しないこと
- 6. 過量服用・長期連用しないこと



相談すること

- 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)高齢者。
 - (4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5)次の症状のある人。 高熱、排尿困難
 - (6)次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
- 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	泌 尿 器	排尿困難
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振	そ の 他	過度の体温低下
精神神経系	めまい		

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根等）のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

症状の名称	症 状
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
便秘、口のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

成分及び分量 1日量（3包）中

アセトアミノフェン……………900.0mg・クロルフェニラミンマレイン酸塩…7.5mg
 ジヒドロコデインリン酸塩……………24.0mg・ノスカピン……………48.0mg
 dl-メチルエフェドリン塩酸塩……………60.0mg・グアヤコールスルホン酸カリウム…240.0mg
 カフェイン……………75.0mg・チアミンジスルフィド……………24.0mg
 リボフラビン……………12.0mg・ゴオウ……………3.0mg
 添加物として、バレイショテンブン、ヒドロキシプロピルセルロース、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、グリチルリチン酸二カリウム、香料を含有します。

〈成分及び分量に関連する注意〉

本剤に配合されているリボフラビン（ビタミンB₂）により、尿が黄色くなることがあります。

効能又は効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法及び用量

いずれも、1日3回食後なるべく30分以内に服用してください。

15歳以上	1回	1包
12歳以上15歳未満	1回	2/3包
12歳未満		服用しないこと

〈用法及び用量に関連する注意〉

- (1)用法及び用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

大協薬品工業株式会社 お客様相談窓口 電話：076-479-1313
 受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
 電話：0120-149-931（フリーダイヤル）